

2次元バーコードリーダー 完全版日本語マニュアル



Ver2.2

※型番/FW によって対応していない設定項目もございます。

目次

1. 設定方法	8
○設定の注意	9
2. インターフェイスの設定	10
3. RS-232 の設定	11
3-1. ホストタイプ	11
3-2. フロー制御/フローコントロール	11
3-3. 文字間遅延 (RS-232)	12
3-4. コード間遅延 (RS-232)	13
3-5. BandRate	14
3-6. Parity bit	15
3-7. Data bit	15
3-8. Stop bit	15
4. USB インターフェイスの設定	16
4-1. USB デバイスタイプ	16
4-2. キーボードタイプ (USB)	17
4-3. 文字間遅延 (USB)	18
4-4. 数字キーのエミュレート (USB)	18
5. スキャンモード・その他設定	19
5-1. スキャン (照射) モード	19
5-2. 自動認識モードの動作条件	20
5-3. 自動認識の補助照明の調整	20
5-4. 自動認識(ハンズフリー)感度の調整	21
5-5. 待機時間	22
5-6. 同一 1 次元コード遅延	23
5-7. 同一 2 次元コード遅延	24
5-8. 送信前確認 (誤読チェック)	25
5-9. 桁数制限 (最大・1 次元コードのみ)	26
5-10. 桁数制限 (最小・1 次元コードのみ)	27
5-11. 要素の改正 (補正読取り)	28
5-12. 出力文字形式の制限	28
5-13. デコーダの最適化 (読取り強化)	28
5-14. 文字符号化方式 (キャラクタエンコード)	29
5-16. 完全出力後送信	29
6. インジケータ (音量・LED・読み取り音)	30
6-1. 起動音	30
6-2. LED インジケータ	30
6-3. 読み取り音の ON/OFF	30
6-4. ビープ音長	31
6-5. 読み取り音のボリューム	32
7. 照射パターン (赤又は緑の補助 LED・白 LED) の調整	33

7-1	デコード照明の点灯タイミング（白 LED 部分）	33
7-2	デコード標準パターン（赤又は緑の補助 LED 部分）	33
7-3	白のバックライト調整（読み取り感度増加等）	34
8.	2次元バーコード設定（QR・DataMatrix 等）	35
8-1	コードの読取り設定	35
9	密集バーコード読取り設定	36
9-1	ピックリスト（Packlist）モード	36
9-2	緑ポインタのピント調節設定	37
10.	UPC-A	38
10-1	UPC-A の読取り	38
10-2	UPC-A チェックディジットの確認	38
10-3	UPC-A チェックディジットの送信	38
10-4	UPC-A 補助桁（アドオンコード）	39
10-5	UPC-A 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）	39
11.	UPC-E	40
11-1	UPC-E の読取り	40
11-2	UPC-E チェックディジットの確認	40
11-3	UPC-E チェックディジットの送信	40
11-4	UPC-E 補助桁（アドオンコード）	41
11-5	UPC-E 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）	41
12.	JAN-13(ISBN/ISSN)	42
12-1	JAN-13(ISBN/ISSN)の読取り	42
12-2	JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの確認	42
12-3	JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの送信	42
12-4	JAN-13 補助桁（アドオンコード）	43
12-5	ISBN/ISSN 変換	43
13.	JAN-8	44
13-1	JAN-8 の読取り	44
13-2	JAN-8 チェックディジットの確認	44
13-3	JAN-8 チェックディジットの送信	44
13-4	JAN-8 補助桁（アドオンコード）	45
13-5	切り捨て・拡張	45
14.	CODE 39	46
14-1	CODE39 の読取り	46
14-2	CODE39 チェックディジットの確認	46
14-3	CODE39 チェックディジットの送信	46
14-4	CODE39：最大読取り桁数	47
14-5	CODE39：最小読取り桁数	48
14-6	CODE39：フォーマット	49
14-7	CODE39：スタート・ストップ	49
14-8	“★” データ文字として認識	49

14-9	Code 39 を Code 32 に変換	49
14-10	コード 32 プレフィックス"A"送信	50
14-11	Trioptic Code 39 の読み取り	50
14-12	Trioptic Code 39 のスタート/エンド伝送	50
15.	Interleaved 2 of 5 (ITF)	51
15-1	Interleaved 2 of 5 の読み取り	51
15-2	Interleaved 2 of 5 チェックディジットの確認	51
15-3	Interleaved 2 of 5 チェックディジットの送信	51
15-4	Interleaved 2 of 5 : 最大読み取り桁数.....	52
15-5	Interleaved 2 of 5 : 最小読み取り桁数.....	53
16.	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5).....	54
16-1	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)の読み取り	54
16-2	Industrial 2 of 5 : 最大読み取り桁数	55
16-3	Industrial 2 of 5 : 最小読み取り桁数	56
17.	Matrix 2 of 5.....	57
17-1	Matrix 2 of 5 の読み取り	57
17-2	Matrix 2 of 5 チェックディジットの確認	57
17-3	Matrix 2 of 5 チェックディジットの送信	57
17-4	Matrix 2 of 5 : 最大読み取り桁数	58
17-5	Matrix 2 of 5 : 最小読み取り桁数	59
18.	Codabar (NW-7)	60
18-1	Codabar の読み取り	60
18-2	Codabar チェックディジットの確認	60
18-3	Codabar チェックディジットの送信	60
18-4	Codabar : 最大読み取り桁数	61
18-5	Codabar : 最小読み取り桁数	62
18-6	Codabar Start/End タイプ	63
18-7	Codabar Start/End の送信	63
18-8	Codabar 先頭末尾確認	63
19.	Code128.....	64
19-1	Code128 の読み取り	64
19-2	Code128 チェックディジットの確認	64
19-3	Code128 チェックディジットの送信	64
19-4	Code128 : 最大読み取り桁数	65
19-5	Code128 : 最小読み取り桁数	66
19-6	Code128 先頭 0 の切り捨て	67
20.	UCC/EAN 128.....	68
20-1	UCC/EAN 128 の読み取り	68
20-2	UCC/EAN 128 チェックディジットの確認	68
20-3	UCC/EAN 128 チェックディジットの送信	68
20-4	UCC/EAN 128 : 最大読み取り桁数.....	69

20-5	UCC/EAN 128 : 最小読取り桁数.....	70
20-6	UCC/EAN 128 先頭 0 の切り捨て.....	71
21.	ISBT128	72
21-1	ISBT128 の読取り	72
21-2	ISBT128 チェックディジットの確認.....	72
21-3	ISBT128 チェックディジットの送信.....	72
21-4	ISBT128 : 最大読取り桁数	73
21-5	ISBT128 : 最小読取り桁数	74
22.	CODE93	75
22-1	CODE93 の読取り	75
22-2	CODE93 チェックディジットの確認.....	75
22-3	CODE93 チェックディジットの送信.....	75
22-4	CODE93 : 最大読取り桁数	76
22-5	CODE93 : 最小読取り桁数	77
23.	CODE11.....	78
23-1	CODE11 の読取り	78
23-2	CODE11 チェックディジットの確認.....	78
23-3	CODE11 チェックディジットの送信.....	78
23-4	CODE11 : 最大読取り桁数	79
23-5	CODE11 : 最小読取り桁数	80
24.	MSI/PLESSEY.....	81
24-1	MSI/PLESSEY の読取り	81
24-2	MSI/PLESSEY チェックディジットの確認	81
24-3	MSI/PLESSEY チェックディジットの送信	81
24-4	MSI/PLESSEY : 最大読取り桁数.....	82
24-5	MSI/PLESSEY : 最小読取り桁数.....	83
25.	UK/PLESSEY	84
25-1	UK/PLESSEY の読取り	84
25-2	UK/PLESSEY チェックディジットの確認.....	84
25-3	UK/PLESSEY チェックディジットの送信.....	84
25-4	UK/PLESSEY : 最大読取り桁数.....	85
25-5	UK/PLESSEY : 最小読取り桁数.....	86
26.	CHINA POST.....	87
26-1	CHINA POST の読取り	87
26-2	CHINA POST : 最大読取り桁数.....	88
26-3	CHINA POST : 最小読取り桁数.....	89
27.	CHINA FINANCE.....	90
27-1	CHINA FINANCE の読取り	90
27-2	CHINA FINANCE : 最大読取り桁数.....	91
27-3	CHINA FINANCE : 最小読取り桁数.....	92
27-4	CHINA FINANCE : チェックディジットの確認.....	93

27-5	CHINA FINANCE : 先頭の文字 5/6/7/8/9 の A / B/ C/ D/ E に変換	93
27-6	CHINA FINANCE : 割当文字の読取り	94
28.	TELEPEN	95
28-1	TELEPEN の読取り	95
28-2	TELEPEN チェックディジットの確認.....	95
28-3	TELEPEN チェックディジットの送信.....	95
28-4	TELEPEN : 最大読取り桁数	96
28-5	TELEPEN : 最小読取り桁数	97
28-6	ユニコード文字セットのタイプ	98
29.	GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated).....	99
29-1	GS1 DataBar の読取り	99
29-2	GS1 DataBar の変換.....	99
30.	GS1 DataBar Limited	100
30-1	GS1 DataBar Limited の読取り	100
30-2	GS1 DataBar Limited の変換	100
31.	GS1 DataBar Expanded	101
31-1	GS1 DataBar Expanded の読取り	101
31-2	GS1 DataBar Expanded : 最大読取り桁数.....	102
31-3	GS1 DataBar Expanded : 最小読取り桁数.....	103
31-4	GS1 DataBar Expanded の読取り	104
32.	PDF417	105
32-1	PDF417 の読取り	105
33.	QR Code	106
33-1	QR Code の読取り	106
34.	Data Matrix	107
34-1	Data Matrix の読取り	107
35.	Micro QR の読み取り	108
35-1	Micro QR の読取り	108
36.	Aztec の読み取り	109
36-1	Aztec の読取り	109
37.	出力文字の編集.....	110
37-1	先頭に文字を付加する	110
37-2	末尾に文字を付加する	113
37-3	文字を任意の位置に挿入する	116
37-4	文字を別の文字に置き換える。(置換機能)	120
37-5	文字を別の文字に置き換える。(置換機能・複数)	126
37-6	先頭又は末尾から文字を抜き出す	131
37-7	文字列の削除 (back space 付加)	132
38.	出力文字の編集 2	135
38-1	コード名の表示.....	135
38-2	コード ID の表示	135

38-3	コード名の文字数の出力	135
38-4	大文字→小文字 小文字→大文字固定変換送信	136
39.	コード ID のセッティング	137
39-1	コード ID の設定	137
◆	ASCII コード	143
◆	数字コード	144
◆	初期化	145
◆	バージョンの確認	145

1. 設定方法

○設定について（設定前にご確認下さい） **※設定後は USB ケーブルを抜き差しして下さい。**

設定方法は下記の 3 種類がございます。

1. クイックバーコード設定

※一部の FW（2016 年以前）はクイックバーコード設定に対応してない場合がございます。

一つのバーコードを読み取ることで設定が可能です。

下記の「%1001D02%」のコードを読み取ると

「対応した 2 次元コード全て読み取り ON」が設定されます。

対応した 2 次元コード全て読み取り ON



%1001D02%

2. マルチスキャン設定

バーコードを複数読み取ることで設定が可能です。

下記の「例 1 設定内容」の文字間設定で 20ms の設定を行いたい場合は

例 2 のように「%0903M%」→「0」→「3」→「%END%」の順で

バーコードを読み取って下さい。

「0」～「9」の数字バーコード・「A」～「E」のアルファベットコードは

P112、P113 を参照してください。

例 1：設定内容

文字間遅延  %0903M%	数字コード	内容
	0→0	0ms（デフォルト）
0→1	5ms	
0→2	10ms	
0→3	20ms	

例 2：「文字間遅延を 20ms」に設定する。

文字間遅延を 20ms 入れる



%0903M%



0



3



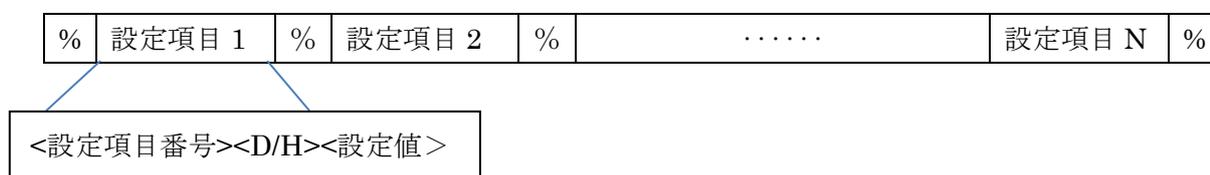
%END%

3. カスタマイズ QR コード設定

以下の設定用 QR コードの作成ルールに基づき、複数の設定内容を一つの QR コードに反映することは可能です。完成した QR コードをスキャンすることで、設定内容を反映できます。

※一部の FW（2016 年以前）はカスタマイズ QR コード設定機能に対応してない場合がございます。

A. 設定用 QR コードの作成ルール



説明：

<設定項目番号>とは、設定項目ごとに 0～9 から 4 桁の数字の組合せ

<D/H>：設定値の内容が 10 進数の場合は D に指定して下さい。

設定値の内容が 16 進数の場合は H に指定して下さい。

<設定値>とはキャラクターコードのことです、長さは 2,4 或いはその他の値、設定項目の内容によって変わります。

「0」～「9」の数字バーコード・「A」～「E」のアルファベットコードは P112、P113 を参照してください。

例：

設定したい項目：

スキャンモードを常時照射に変更：0401->03(10 進数)

読み取られるバーコードの末尾に CR(改行)を付加したい：8002->0D0A(16 進数)；8202->01(10 進数)

QR コード作成ルール：`%0401D03%8002H0D0A%8202D01%`



B. QR コード作成の注意事項

QR コードを作成の際は、モデル 2 (Model : M2) に指定して下さい。

※モデル 2 は、モデル 1 を改良し、最大バージョンは 40(177*177 セル)で数字 7089 桁まで扱うことができるコードです。現在、QR コードと言うと、一般的にはモデル 2 を指します。

QR コードの構成において、ECC、スタート・ストップに関する制限はございません。

○設定の注意

読み取りの際は他のバーコードを巻き込んで

読み取らないように回りのコードを隠すか下記のように穴あきシートをご利用下さい。

2. インターフェイスの設定

バーコードリーダーでご利用になられるインターフェイスを固定化出来ます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
インターフェイスの設定 %0101M%	0→0	自動選択 ※デフォルト	 %0101D00%
	0→2	RS-232C 固定	 %0101D02%
	0→3	USB 固定	 %0101D03%

3.RS-232 の設定

3-1. ホストタイプ

標準規格：通常の PC の RS-232C ポートを使用される際はこちらをご利用下さい。

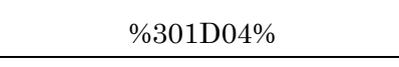
OPOS/JPOS：OPOS/JPOS 等のシステム PC をご利用の際はこちらをご利用下さい。

ドライバはご利用されている OPOS/JPOS システムのものをご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
インターフェイスの設定 %0310M%	0→0	標準規格 ※デフォルト	 %0310D00%
	0→1	OPOS/JPOS	 %0310D01%

3-2. フロー制御/フローコントロール

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
フロー制御 %0301M%	0→0	None ※デフォルト	 %301D00%
	0→1	RTS/CTS (Host idle: Low RTS)	 %301D01%
	0→2	RTS/CTS (Host idle: High RTS)	 %301D02%
	0→3	XON/XOFF	 %301D03%
	0→4	ACK/NAK	 %301D04%

3-3. 文字間遅延 (RS-232)

文字間遅延が必要な際にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
文字間遅延 %0302M%	0→0	0ms ※デフォルト	 %0302D00% *
	0→1	5ms	 %0302D01%
	0→2	10ms	 %0302D02%
	0→3	20ms	 %0302D03%
	0→4	40ms	 %0302D04%
	0→5	80ms	 %0302D05%

3-4. コード間遅延 (RS-232)

バーコードの読み取りの間に遅延を入れます。

「%0304M%」を読み取り遅延を入れたい時間 (ms) を指定します。

例：10ms のコード間遅延を入れる

「%0304M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
	0→0	遅延なし
	00→99 (100ms) ※デフォルト値は 00	1ms の場合は「0」 → 「1」 10ms の場合は「1」 → 「0」 の順で読み取る。 最大は「9」 → 「9」 の 99ms

数字バーコード読み取り (マルチスキャン用)

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

3-5. BandRate

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
Baud rate %0305M%	0→0	300	 %0305D00%
	0→1	600	 %0305D01%
	0→2	1200	 %0305D02%
	0→3	2400	 %0305D03%
	0→4	4800	 %0305D04%
	0→5	9600 ※デフォルト	 %0305D05% *
	0→6	19200	 %0305D06%
	0→7	38400	 %0305D07%
	0→8	57600	 %0305D08%
	0→9	115200	 %0305D09%

3-6. Parity bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
Parity bit %0306M%	0→0	None ※デフォルト	 %0306D00% *
	0→1	Odd	 %0306D01%
	0→2	Even	 %0306D02%

3-7. Data bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
Data bit %0307M%	0→0	8bit ※デフォルト	 %0307D00% *
	0→1	7bit	 %0307D01%

3-8. Stop bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
Stop bit %0308M%	0→0	One bit ※デフォルト	 %0308D00% *
	0→1	Two bits	 %0308D01%

4.USB インターフェイスの設定

4-1. USB デバイスタイプ

USB 接続の際の制御方法を指定します。

設定後は **USB** の抜き差しが必要です。

○説明

HID キーボード：WindowsPC 等と接続される際はこちらをご利用下さい

HID (Apple Mac)：Macbook 等の AppleMac 製品をご利用の際はこちらをご利用下さい

VirtualCom：COM エミュレーションが必要な際にご利用下さい。

SimpleCOM：ホスト側で指定がある場合にご利用下さい。

HID OPOS/JPOS：OPOS/JPOS でご利用の際に設定して下さい。

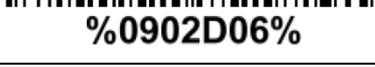
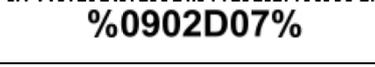
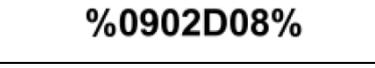
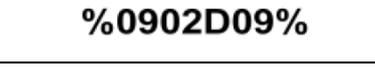
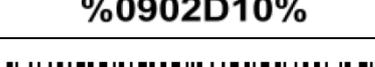
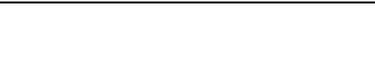
ドライバは別途、OPOS/JPOS のものをご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0901M%	0→0	HID キーボード ※デフォルト	 %0901D00% *
	0→1	HID キーボード (Apple Mac)	 %0901D01%
	0→2	Virtual COM	 %0901D02%
	0→3	Simple COM エミュレーション	 %0901D03%
	0→4	HID OPOS/JPOS	 %0901D04%

4-2. キーボードタイプ (USB)

お使いの PC に合わせて設定を行って下さい。

通常は「日本語」ですが、ネットブックやノート PC は「US」の場合がございます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0902M%	0→0	US ※デフォルト	 %0902D00% *
	0→1	Turkish F	 %0902D01%
	0→2	Turkish Q	 %0902D02%
	0→3	French	 %0902D03%
	0→4	Italian	 %0902D04%
	0→5	Spanish	 %0902D05%
	0→6	Slovak	 %0902D06%
	0→7	Denmark	 %0902D07%
	0→8	Japanese (日本語)	 %0902D08%
	0→9	German	 %0902D09%
	1→0	Belgian	 %0902D10%
	1→1	Russian	 %0902D11%
	1→2	Czech	 %0902D12%

4-3. 文字間遅延 (USB)

バーコードデータ文字毎に遅延を入れる設定です。

お使いの PC よりバーコードリーダーの送信速度が早く、
処理ができない場合などにご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0903M%	0→0	0ms ※デフォルト	 %0903D00% *
	0→1	5ms	 %0903D01%
	0→2	10ms	 %0903D02%
	0→3	20ms	 %0903D03%
	0→4	40ms	 %0903D04%
	0→5	60ms	 %0903D05%

4-4. 数字キーのエミュレート (USB)

アルファベットキー：キーボードの数字キーを使い送信を行います。

テンキー：「1～9」の数字キー、「+」「-」「*」「/」「.」キーをテンキー操作で送信します。

Alt+keypad：様々なキーボード体型用の送信方法です。

Num Lock キーのコントロールキーがオンでなければならないことに注意してください。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0904M%	0→0	アルファベット キー ※デフォルト	 %0904D00% *
	0→1	テンキー	 %0904D01%
	0→2	Alt+keypad	 %0904D02%

5. スキャンモード・その他設定

5-1 スキャン（照射）モード

内容	説明
グッドリード	トリガーを引いてコードを読み取るか一定時間立つまで照射します。
トリガーモード	トリガーを引いている間、照射を続けます。
トリガー交互	トリガーを1度引くと照射開始、もう一度トリガーを引いてコードを読むと消灯。
常時照射	トリガーの操作無し状態で照射が出続けます。
タイムアウト OFF	トリガーを引いて一定時間立つまで照射します。
自動認識(待機)	バーコードを近づけると自動で照射し読取りを行えます。待機時間を超えると消灯する
自動認識(単発)	バーコードを近づけると自動で照射し読取りを行えます。読取り後消灯する。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0401M%	0→0	グッドリード	 %0401D00%
	0→1	トリガーモード ※デフォルト	 %0401D01% *
	0→2	トリガー交互	 %0401D02%
	0→3	常時照射	 %0401D03%
	0→4	タイムアウト OFF	 %0401D04%
	0→6	自動認識 (待機)	 %0401D06%
	0→7	自動認識 (単発)	 %0401D07%

5-2 自動認識モードの動作条件

スタンド検知あり：専用スタンド(磁石付き)に装着した際は、自動認識モードに自動切り替えます。スタンドからスキャナーを外した際は、トリガーモードに自動切り替えます。

※スキャンモードを自動認識(待機/単発)に設定する必要があります。

常時動作：スタンドの装着状態にかかわらず、常時自動認識モードで動作します。

※スキャンモードを自動認識(待機/単発)に設定する必要があります。

マルチスキャン設定	設定値	内容	クイックバーコード
%0602M%	0→0	スタンド検知あり ※デフォルト	 %0602D00% *
	0→1	常時動作	 %0602D01%

5-3 自動認識の補助照明の調整

常時補助照明 OFF：常時補助照明は OFF となります。

周囲光が弱い時だけ補助照明は ON となります。

常時補助照明 ON：常時補助照明は ON となります。

※スキャンモードを自動認識(待機/単発)に設定する必要があります。

マルチスキャン設定	設定値	内容	クイックバーコード
%0605M%	0→0	常時補助照明 OFF	 %0605D00%
	0→1	周囲光が弱い時 だけ補助照明 ON ※デフォルト	 %0605D01% *
	0→2	常時補助照明 ON	 %0605D02%

5-4. 自動認識(ハンズフリー)感度の調整

自動認識(ハンズフリー)モードにて照射の感度を調整できます。

マルチスキャン設定	設定値	内容	クイックバーコード
%0604M%	0→0	高 ※デフォルト	 %0604D00% *
	0→1	低	 %0604D01%

5-5. 待機時間

グッドリード・タイムアウト OFF・自動検出モード(待機)時に照射する時間の設定を行います。

マルチスキャン設定	設定値	内容	クイックバーコード
%0402M%	0→0	4 秒 ※デフォルト	 %0402D00% *
	0→1	8 秒	 %0402D01%
	0→2	16 秒	 %0402D02%
	0→3	24 秒	 %0402D03%
	0→4	30 秒	 %0402D04%
	0→5	1 分	 %0402D05%
	0→7	2 分	 %0402D07%
	0→8	5 分	 %0402D08%
	1→0	10 分	 %0402D10%
	1→2	20 分	 %0402D12%
	1→3	30 分	 %0402D13%

5-6. 同一 1次元コード遅延

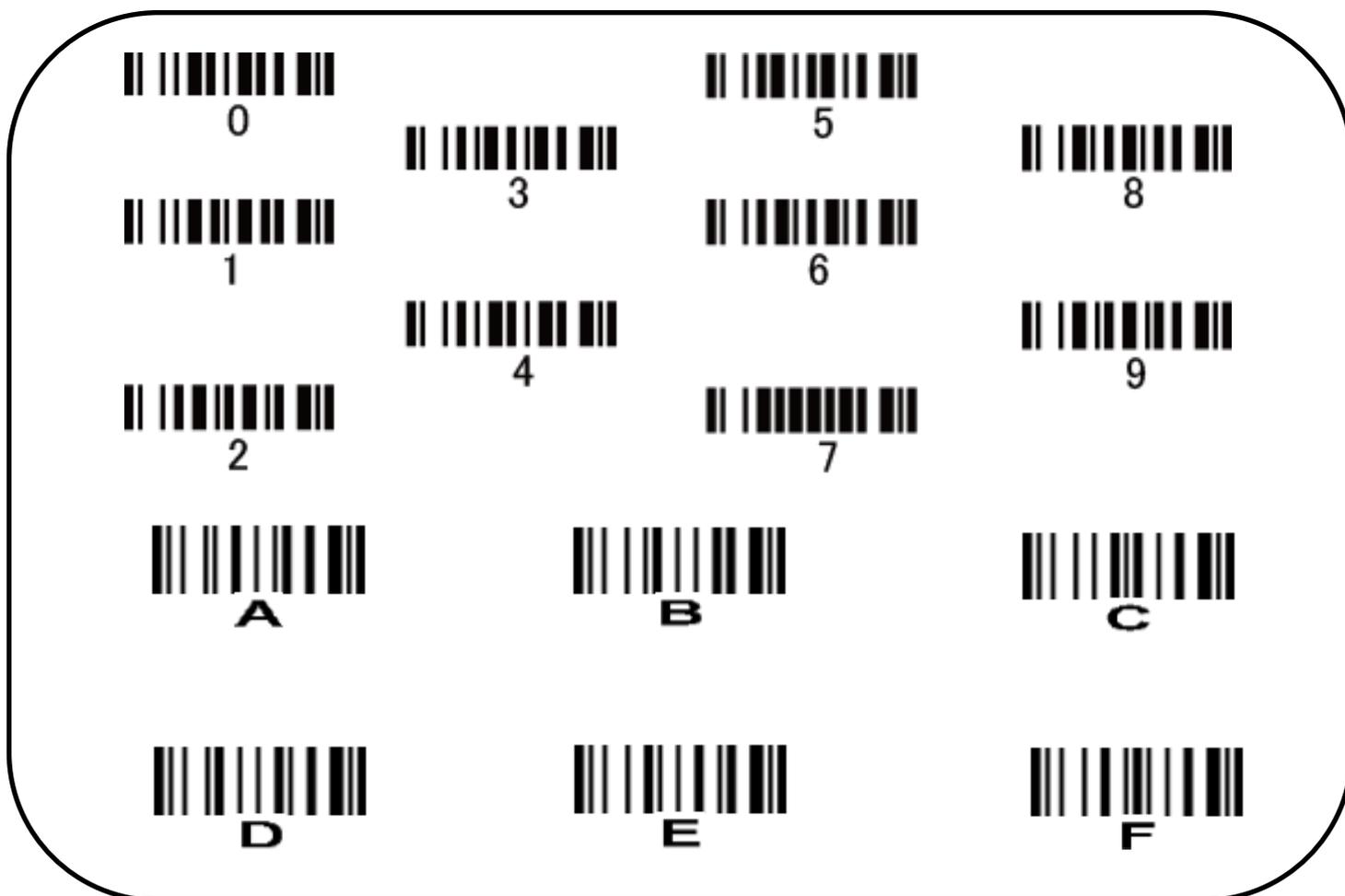
常時照射モードの際に同一の1次元コードを連続して読み取る際に設定した時間、読み取りを無効にします。
設定した値（16進数）×50msが反映されます。

例：20（16進数）→32（10進数）に設定すると $32 \times 50 = 1600\text{ms}$ （1.6s）

10（16進数）→16（10進数）に設定すると $16 \times 50 = 800\text{ms}$ （0.8s）

マルチスキャン設定	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	00～FF（16進数） （50ms） ※デフォルト値は 08 （400ms）	例：1600ms（1.6s）の照射遅延に設定したい場合は $1600\text{ms} = 32 * 50\text{ms}$ 32 （10進数） = 20 （16進数） 「%0403M%」→「2」→「0」→「%END%」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 08（400ms） ※「F」→「F」で直前同一コード禁止 ※設定単位は 50ms

オプションコード読み取り（マルチスキャン用）



5-7. 同一 2次元コード遅延

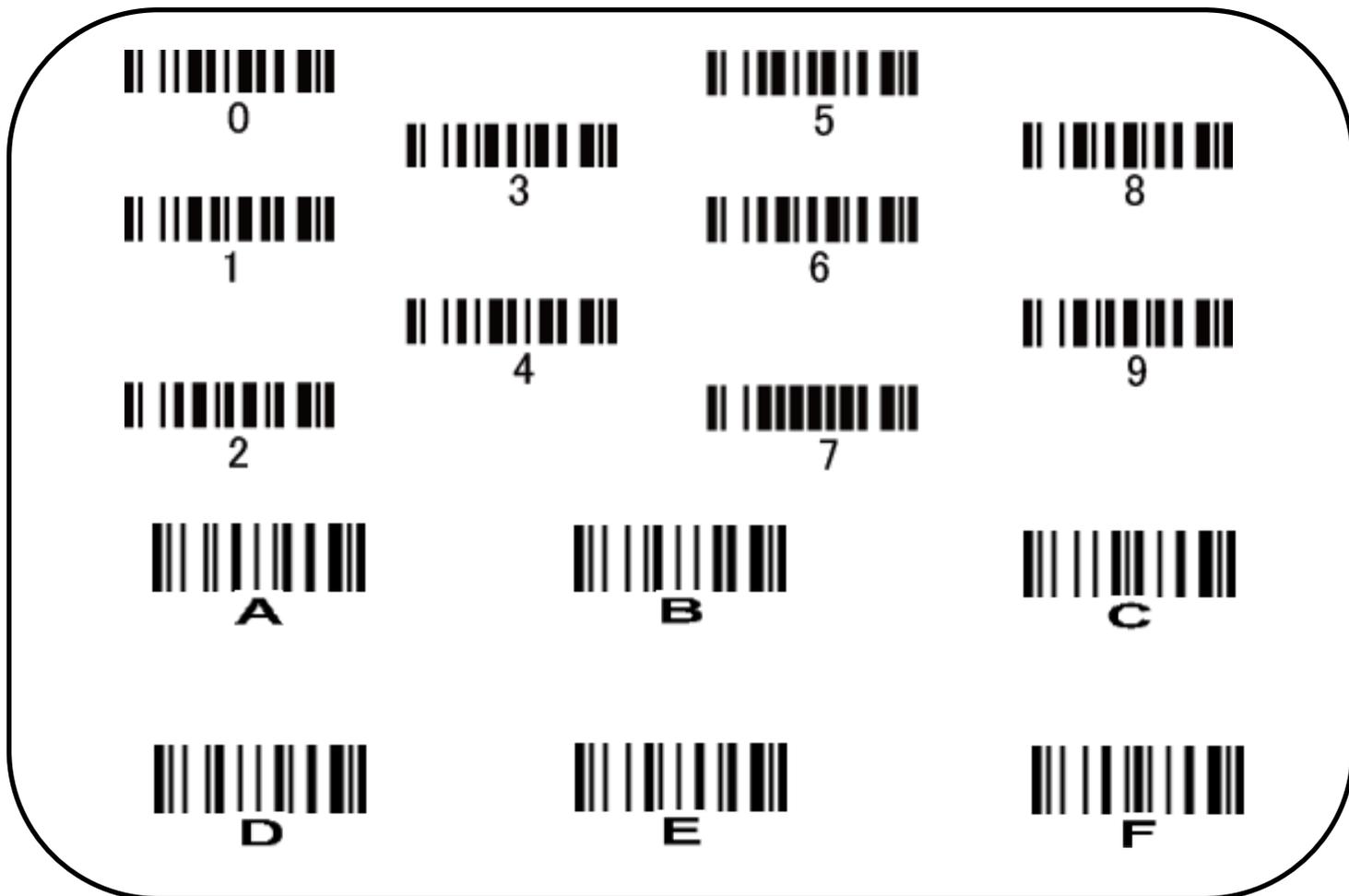
常時照射モードの際に同一の2次元コードを連続して読み取る際に設定した時間、読み取りを無効にします。
設定した値 (16進数) × 50ms が反映されます。

例：20 (16進数) → 32 (10進数) に設定すると $32 \times 50 = 1600\text{ms}$ (1.6 s)

10 (16進数) → 16 (10進数) に設定すると $16 \times 50 = 800\text{ms}$ (0.8 s)

マルチスキャン設定	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	00~FF (16進数) (50ms) ※デフォルト値は 08 (400ms)	例：1600ms (1.6s) の照射遅延に設定したい場合は $1600\text{ms} = 32 * 50\text{ms}$ 32 (10進数) = 20 (16進数) 「%0415M%」→「2」→「0」→「%END%」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 08 (400ms) ※「F」→「F」で直前同一コード禁止 ※設定単位は 50ms

オプションコード読み取り (マルチスキャン用)



5-8. 送信前確認（誤読チェック）

指定した回数、バーコードを誤読していないかチェックを行います。

例：「0」→「4」だと4回 「1」→「0」だと10回のチェックが入ります。※最大09まで

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	00～09 ※デフォルト値は00	<p>例：2回誤読チェックに設定したい場合は 「%0404M%」→「0」→「2」→「%END%」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は00（チェックなし） ※最大9回まで</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

5-9. 桁数制限（最大・1次元コードのみ）

UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。

指定した桁数より大きい桁数のバーコードの読み取りを無効にします。

例：「0」→「4」だと4桁 「1」→「0」だと10桁まで読み取ります。※最大99まで

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
	<p>01～99 ※デフォルト値は99</p>	<p>例：最大読み取り桁数を10桁に設定したい場合は 「%0405M%」→「1」→「0」→「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は99 ※UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



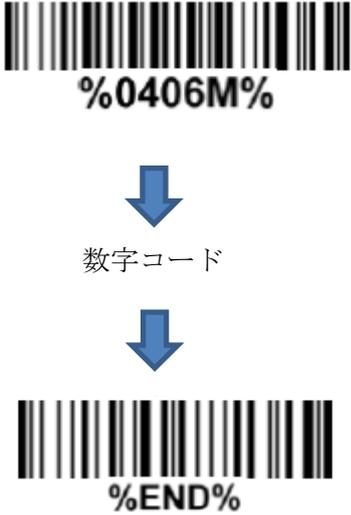
7

5-10. 桁数制限（最小・1次元コードのみ）

UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。

指定した桁数より小さい桁数のバーコードの読み取りを無効にします。

例：「0」→「4」だと4桁 「1」→「0」だと10桁まで読み取ります。※最大99まで

マルチスキャン設定手順	数字コード	内容
	<p>01～99 ※デフォルト値は04。</p>	<p>例：最小読み取り桁数を10桁に設定したい場合は 「%0406M%」→「1」→「0」→「%END%」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は04 ※UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

5-11. 要素の改正（補正読取り）

バーコードの幅が異なっていたり、印字がかすれていたたりして読めないバーコードデータを補正し取り込む設定です。
誤読が頻発する場合は OFF にします。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0408M%	0→0	補正読取り OFF	 %0408D00%
	0→1	補正読取り ON ※デフォルト	 %0408D01% *

5-12. 出力文字形式の制限

印刷可能な文字や英数字だけの送信などを行えます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0409M%	0→0	制限なし ※デフォルト	 %0409D00% *
	0→1	印刷可能文字のみ	 %0409D01%
	0→2	英数字のみ	 %0409D02%

5-13. デコーダの最適化（読取り強化）

読取りの最適化を行います。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0410M%	0→0	無効	 %0410D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0410D01% *

5-14. 文字符号化方式（キャラクタエンコード）

ソフト側で指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0413M%	0→0	ASCII ※デフォルト	 %0413D00% *
	0→1	UTF-8	 %0413D01%
	0→2	Windows-1251	 %0413D02%

5-16. 完全出力後送信

キーボード設定が HID キーボード又は HID（Apple Mac）の場合に機能します。

読み取ったバーコードが完全に送信されるまで次のバーコードの送信を行いません。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0414M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %0414D00% *
	0→1	有効	 %0414D01% *

6. インジケータ（音量・LED・読み取り音）

6-1 起動音

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0501M%	0→0	無効	 %0501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0501D01% *

6-2 LED インジケータ

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0502M%	0→0	無効	 %0502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0502D01% *

6-3 読み取り音の ON/OFF

読み取り音の ON・OFF を設定できます。音調や音量は 6-4、6-5 より設定ください。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0503M%	0→0	無効	 %0503D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0503D01% *

6-4 ビープ音長

01～09 までの設定が可能です。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">01-09 (10ms) ※デフォルト値は 05</p>	<p>例：ビープ音の長さを 0.1 秒に設定した場合</p> <p style="text-align: center;">$0.1s = 100ms = 10 \times 10ms$</p> <p>「%0504M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 05 (0.05s) ※設定単位は 10ms</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

6-5 読み取り音のボリューム

読み取り音を OFF にする場合は 6-3 をご確認ください。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%0505M%	0→0	小	 %0505D00%
	0→1	中	 %0505D01%
	0→2	大 ※デフォルト	 %0505D02% *

7. 照射パターン（赤又は緑の補助 LED・白 LED）の調整

7-1 デコード照明の点灯タイミング（白 LED 部分）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%9001M%	0→0	常にオフ	 %9001D00%
	0→1	常時オン	 %9001D01%
	0→2	点滅	 %9001D02%
	0→3	読み取り時に ON ※デフォルト	 %9001D03% *

7-2 デコード標準パターン（赤又は緑の補助 LED 部分）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%9002M%	0→0	常にオフ	 %9002D00%
	0→1	常時オン	 %9002D01%
	0→2	読取り前のみ ON	 %9002D02%
	0→3	読み取り時に ON ※デフォルト	 %9002D03% *

7-3 白のバックライト調整（読み取り感度増加等）

バーコード読み取りの際の読み取りを補助します。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%9003M%	0→0	OFF	 %9003D00%
	0→1	低	 %9003D01%
	0→2	中 ※デフォルト	 %9003D02% *
	0→3	高	 %9003D03%

8. 2次元バーコード設定（QR・DataMatrix等）

8-1 コードの読取り設定

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1001M%	0→0	コードごとの 設定に従う ※デフォルト	 %1001D00% *
	0→1	2次元コードを 読み取らない。	 %1001D01%
	0→2	2次元コードを 全て読み取る。	 %1001D02%
	0→3	PDF417のみ 読み取る。	 %1001D03%
	0→4	QRコードのみ 読み取る	 %1001D04%
	0→5	Data Matrix のみ読み取る	 %1001D05%
	0→6	Maxi Code のみ読み取る	 %1001D06%
	0→7	Aztec Code のみ読み取る	 %1001D07%
	0→8	Han Xin Code のみ読み取る	 %1001D08%

9 密集バーコード読取り設定

9-1 ピックリスト (Packlist) モード

2次元スキャナーはエリアで読み取るので、複数のバーコードが密集している場合は、より読みやすいバーコードを読み取ります。

必ず照射エリアの中心にあるバーコードを読み取るわけではありません。

ピックリストモードで読み取りたいコードをピンポイントで狙って読み取ることができます。

密集したバーコードをスキャン際に便利です。

※デフォルト状態は無効となります。

※ピックリストモードを有効にする場合は、通常スキャンモードに比べると、スキャン速度が遅くなります、読取距離が短くなります。ご注意ください。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1004M%	0→0	無効 ※デフォルト	%1004D00% *
	0→1	有効	%1004D01%

サンプルコード 1 : ↵



9-2 緑ポインターのピント調節設定

ポインターのピントをより真ん中に合わせることが可能です。

密集コードを読む際は狙い易くなります。

※ハンディタイプの2次元バーコードリーダーのみ調整可能です。

- 1,本ページを印刷して下さい。調節コード(%initD00%)をスキャンし、スキャナーが「ピピピッ」3声鳴ると、ピント調整モードに入ります。
- 2,本ページをテーブルに置いて、垂直 15CM 離れたところから再度調節コード(%initD00%)をスキャンして下さい。
「ピピピッ」3声が鳴ると、調節完了となります。
「ピ…」1声が鳴ると、調節失敗となります。
- 3,調節失敗の際は、再度1と2の手順からやり直して下さい。



10. UPC-A

10-1 UPC-A の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1101M%	0→0	無効	 %1101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1101D01% *

10-2 UPC-A チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1102M%	0→0	無効	 %1102D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1102D01% *

10-3 UPC-A チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1103M%	0→0	無効	 %1103D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1103D01% *

10-4 UPC-A 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1106M%	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	%1106D00% *
	0→1	2 digits 有効	%1106D01%
	0→2	5 digits 有効	%1106D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	%1106D03%

10-5 UPC-A 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1107M%	0→0	何もしない ※デフォルト	%1107D00% *
	0→1	0 を切り捨て	%1107D01%
	0→2	JAN13 に変換	%1107D02%
	0→3	システム文字 切り捨て	%1107D03%
	0→4	国コード（US）の 追加	%1107D04%

11. UPC-E

11-1 UPC-E の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1201M%	0→0	無効	 %1201D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1201D01% *

11-2 UPC-E チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1202M%	0→0	無効	 %1202D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1202D01% *

11-3 UPC-E チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1203M%	0→0	無効	 %1203D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1203D01% *

11-4 UPC-E 補助桁 (アドオンコード)

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1206M%	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1206D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %1206D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1206D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1206D03%

11-5 UPC-E 送信変換 (切り捨て・JAN への変換など)

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1207M%	0→0	何もしない ※デフォルト	 %1207D00% *
	0→1	0 を切り捨て	 %1207D01%
	0→2	JAN13 に変換	 %1207D02%
	0→3	UPC-A に変換	 %1207D03%
	0→4	システムの文字を 切り捨て	 %1207D04%

12. JAN-13(ISBN/ISSN)

12-1 JAN-13(ISBN/ISSN)の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1301M%	0→0	無効	 %1301D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1301D01% *

12-2 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1302M%	0→0	無効	 %1302D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1302D01% *

12-3 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1303M%	0→0	無効	 %1303D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1303D01% *

12-4 JAN-13 補助桁 (アドオンコード)

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1306M%	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	%1306D00% *
	0→1	2 digits 有効	%1306D01%
	0→2	5 digits 有効	%1306D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	%1306D03%

12-5 ISBN/ ISSN 変換

JAN コードを ISSN・ISBN の形式に変換します。

例：

バーコード「9780194315104」、出力："019431510X"。

バーコード「9771005180004」、出力："10051805"。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1307M%	0→0	無効	%1307D00% *
	0→1	有効 ※デフォルト	%1307D01%

13. JAN-8

13-1 JAN-8 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1401M%	0→0	無効	 %1401D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1401D01% *

13-2 JAN-8 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1402M%	0→0	無効	 %1402D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1402D01% *

13-3 JAN-8 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1403M%	0→0	無効	 %1403D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1403D01% *

13-4 JAN-8 補助桁 (アドオンコード)

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1406M%	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	%1406D00% *
	0→1	2 digits 有効	%1406D01%
	0→2	5 digits 有効	%1406D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	%1406D03%

13-5 切り捨て・拡張

無し：何もしません。

先頭0切り捨て：先頭の0を切り捨てて送信します。

JAN-13に拡大：JAN13の形式にデータを変換します。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1407M%	0→0	無し ※デフォルト	%1407D00% *
	0→1	先頭0切り捨て	%1407D01%
	0→2	JAN-13に拡大	%1407D02%

14. CODE 39

14-1 CODE39 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1501M%	0→0	無効	 %1501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1501D01% *

14-2 CODE39 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1502M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1502D00% *
	0→1	有効	 %1502D01%

14-3 CODE39 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1503M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1503D00% *
	0→1	有効	 %1503D01%

14-4 CODE39 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">00→99</p> <p style="text-align: center;">※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%1504M%」→「1」→「0」→「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

14-5 CODE39 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%1505M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

14-6 CODE39 : フォーマット

CODE39 のバーコード形式に合わせて設定を行って下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1508M%	0→0 ※デフォルト	通常の CODE39 ※デフォルト	 %1509D00% *
	0→1	FullASC II 形式	 %1509D01%

14-7 CODE39 : スタート・ストップ

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1509M%	0→0 ※デフォルト	送信しない ※デフォルト	 %1509D00% *
	0→1	送信する	 %1509D01%

14-8 “*” データ文字として認識

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1510M%	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	 %1510D00% *
	0→1	有効	 %1510D01%

14-9 Code 39 を Code 32 に変換

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1511M%	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	 %1511D00% *
	0→1	有効	 %1511D01%

14-10 コード 32 プレフィックス"A"送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1512M%	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	* %1512D00%
	0→1	有効	 %1512D01%

14-11 Trioptic Code 39 の読み取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1513M%	0→0 ※デフォルト	送信なし ※デフォルト	* %1513D00%
	0→1	送信あり	 %1513D01%

14-12 Trioptic Code 39 のスタート/エンド伝送

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1514M%	0→0 ※デフォルト	送信なし ※デフォルト	* %1514D00%
	0→1	送信あり	 %1514D01%

15. Interleaved 2 of 5 (ITF)

15-1 Interleaved 2 of 5 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1601M%	0→0	無効	 %1601D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1601D01% *

15-2 Interleaved 2 of 5 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1602M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1602D00% *
	0→1	USS	 %1602D01%
	0→2	OPCC	 %1602D02%

15-3 Interleaved 2 of 5 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1603M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1603D00% *
	0→1	有効	 %1603D01%

15-4 Interleaved 2 of 5 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	00→99 ※デフォルト値は 99	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%1604M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



9



2



4



7

15-5 Interleaved 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p data-bbox="223 459 430 504">%1605M%</p> <p data-bbox="295 548 359 616">↓</p> <p data-bbox="247 616 399 660">数字コード</p> <p data-bbox="295 694 359 761">↓</p>  <p data-bbox="247 851 399 896">%END%</p>	<p data-bbox="670 571 774 604">00→99</p> <p data-bbox="582 616 861 649">※デフォルト値は 06</p>	<p data-bbox="901 470 1460 548">例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p data-bbox="901 560 1460 649">「%1605M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p data-bbox="901 705 1173 750">※デフォルト値は 06</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

16. Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)

16-1 Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1701M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1701D00% *
	0→1	有効	 %1701D01%

16-2 Industrial 2 of 5 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p> 	00→99 ※デフォルト値は 99	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%1702M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

16-3 Industrial 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 04</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%1703M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 04</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

17. Matrix 2 of 5

17-1 Matrix 2 of 5 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1801M%	0→0	無効	 %1801D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1801D01% *

17-2 Matrix 2 of 5 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1802M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1802D00% *
	0→1	有効	 %1802D01%

17-3 Matrix 2 of 5 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1803M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1803D00% *
	0→1	有効	 %1803D01%

17-4 Matrix 2 of 5 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 %1804M%  ↓ 数字コード  ↓  %END%	00→99 ※デフォルト値は 99	例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%1804M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。 ※デフォルト値は 99,無制限になります。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



9



2



4



7

17-5 Matrix 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">00→99</p> <p style="text-align: center;">※デフォルト値は 06</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%1805M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 06</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

18. Codabar (NW-7)

18-1 Codabar の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1901M%	0→0	無効	 %1901D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1901D01% *

18-2 Codabar チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1902M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1902D00% *
	0→1	有効	 %1902D01%

18-3 Codabar チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1903M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1903D00% *
	0→1	有効	 %1903D01%

18-4 Codabar : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">00→99</p> <p style="text-align: center;">※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%1904M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



9



4



2



7

18-5 Codabar : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 04</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%1905M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。 ※デフォルト値は 04</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

18-6 Codabar Start/End タイプ

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1908M%	0→0	ABCD/ABCD ※デフォルト	%1908D00% *
	0→1	abcd/abcd	%1908D01%
	0→2	ABCD/TN*E	%1908D02%
	0→3	abcd/tn*e	%1908D03%

18-7 Codabar Start/End の送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1909M%	0→0	送信しない ※デフォルト	%1909D00% *
	0→1	送信する	%1909D01%

18-8 Codabar 先頭末尾確認

有効にすることで CodaBar の開始文字と終了文字が同じで無ければなりません。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%1910M%	0→0	無効 ※デフォルト	%1910D00% *
	0→1	有効	%1910D01%

19. Code128

19-1 Code128 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2001M%	0→0	無効	 %2001D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2001D01% *

19-2 Code128 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2002M%	0→0	無効	 %2002D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2002D01% *

19-3 Code128 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2003M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2003D00% *
	0→1	有効	 %2003D01%

19-4 Code128 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2004M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

19-5 Code128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2005M%」→「1」→「0」→「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

19-6 Code128 先頭 0 の切り捨て

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2008M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2008D00% *
	0→1	先頭全ての 0 例:0001 では「1」	 %2008D01%
	0→2	先頭の 0 のみ 例:0001 では「001」	 %2008D02%

20. UCC/EAN 128

20-1 UCC/EAN 128 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2501M%	0→0	無効	 %2501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2501D01% *

20-2 UCC/EAN 128 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2502M%	0→0	無効	 %2502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2502D01% *

20-3 UCC/EAN 128 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2503M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2503D00% *
	0→1	有効	 %2503D01%

20-4 UCC/EAN 128 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">%2504M%</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>  <p style="text-align: center;">%END%</p>	<p style="text-align: center;">00→99</p> <p style="text-align: center;">※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2504M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

20-5 UCC/EAN 128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p> 	00→99 ※デフォルト値は 01	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2505M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

20-6 UCC/EAN 128 先頭 0 の切り捨て

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2508M%	0→0	無効 ※デフォルト	%2508D00% *
	0→1	先頭全ての 0 例:0001 では「1」	%2508D01%
	0→2	先頭の 0 のみ 例:0001 では「001」	%2508D02%

21. ISBT128

21-1 ISBT128 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3301M%	0→0	無効	 %3301D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3301D01% *

21-2 ISBT128 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3302M%	0→0	無効	 %3302D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3302D01% *

21-3 ISBT128 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3303M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %3303D00% *
	0→1	有効	 %3303D01%

21-4 ISBT128 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%3304M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

21-5 ISBT128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">%3305M%</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>  <p style="text-align: center;">%END%</p>	<p style="text-align: center;">00→99</p> <p style="text-align: center;">※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%3305M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

22. CODE93

22-1 CODE93 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2101M%	0→0	無効	 %2101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2101D01% *

22-2 CODE93 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2102M%	0→0	無効	 %2102D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2102D01% *

22-3 CODE93 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2103M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2103D00% *
	0→1	有効	 %2103D01%

22-4 CODE93 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">00→99</p> <p style="text-align: center;">※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2104M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

23. CODE11

23-1 CODE11 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2201M%	0→0	無効 ※デフォルト	%2201D00% *
	0→1	有効	%2201D01%

23-2 CODE11 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2202M%	0→0	無効	%2202D00%
	0→1	1 デジット ※デフォルト	%2202D01% *
	予約領域 (今後追加予定です。)		
	予約領域 (今後追加予定です。)		

23-3 CODE11 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2203M%	0→0	無効 ※デフォルト	%2203D00% *
	0→1	有効	%2203D01%

23-4 CODE11：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	00→99 ※デフォルト値は 99	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2204M%」→「1」→「0」→「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



23-5 CODE11：最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">00→99</p> <p style="text-align: center;">※デフォルト値は 04</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%2205M%」→「1」→「0」→「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 04</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

24. MSI/PLESSEY

24-1 MSI/PLESSEY の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2301M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2301D00% *
	0→1	有効	 %2301D01%

24-2 MSI/PLESSEY チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2302M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2302D00% *
	0→1	1 デジット (mod10)	 %2302D01%
	0→2	2 デジット (mod10/10)	 %2302D02%
	0→3	2 デジット (mod10/11)	 %2302D03%

24-3 MSI/PLESSEY チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2303M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2303D00% *
	0→1	有効	 %2303D01%

24-4 MSI/PLESSEY : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	00→99 ※デフォルト値は 99	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2304M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



24-5 MSI/PLESSEY : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	00→99 ※デフォルト値は 04	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%2305M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 04</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

25. UK/PLESSEY

25-1 UK/PLESSEY の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2401M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2401D00% *
	0→1	有効	 %2401D01%

25-2 UK/PLESSEY チェックディジットの確認

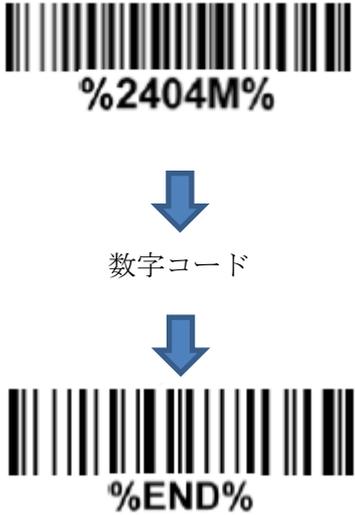
マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2402M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2402D00%
	0→1	有効	 %2402D01% *

25-3 UK/PLESSEY チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2303M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2403D00% *
	0→1	有効	 %2403D01%

25-4 UK/PLESSEY : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>マルチスキャンコード</p> <p>↓ 数字コード</p> <p>マルチスキャンコード</p>	<p>数字コード</p> <p>00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2404M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99,無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



25-5 UK/PLESSEY : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p style="text-align: center;">00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2405M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

26. CHINA POST

26-1 CHINA POST の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2601M%	0→0	無効	 %2601D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2601D01% *

26-2 CHINA POST : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p style="text-align: center;">%2604M%</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>  <p style="text-align: center;">%END%</p>	<p style="text-align: center;">00→99</p> <p style="text-align: center;">※デフォルト値は 11</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2604M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 11</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

26-3 CHINA POST : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 11</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2605M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 11</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

27. CHINA FINANCE

27-1 CHINA FINANCE の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3201M%	0→0	無効	 %3201D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3201D01% *

27-2 CHINA FINANCE : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p data-bbox="229 450 414 488">%3202M%</p> <p data-bbox="296 544 352 611">↓</p> <p data-bbox="252 622 395 656">数字コード</p> <p data-bbox="296 689 352 757">↓</p>  <p data-bbox="252 853 400 891">%END%</p>	<p data-bbox="675 571 770 600">00→99</p> <p data-bbox="588 616 855 649">※デフォルト値は 10</p>	<p data-bbox="906 472 1461 555">例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p data-bbox="906 566 1461 649">「%3202M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p data-bbox="906 712 1171 745">※デフォルト値は 10</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

27-3 CHINA FINANCE : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">%3203M%</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">%END%</p>	00→99 ※デフォルト値は 10	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%3203M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 10</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2

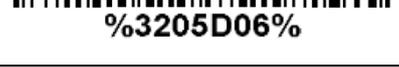


7

27-4 CHINA FINANCE : チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3204M%	0→0	無効	 %3204D00% *
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3204D01%

27-5 CHINA FINANCE : 先頭の文字 5/6/7/8/9 の A / B / C / D / E に変換

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3205M%	0→0	無効	 %3205D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3205D01% *
	0→2	5のみ A にする	 %3205D02%
	0→3	6のみ B にする	 %3205D03%
	0→4	7のみ C にする	 %3205D04%
	0→5	8のみ D にする	 %3205D05%
	0→6	9のみ E にする	 %3205D06%

27-6 CHINA FINANCE : 割当文字の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3206M%	0→0	無効	 %3206D00%
	0→1	割り当て : 0 ※デフォルト	 %3206D01% *
	0→2	割り当て : 5 (A)	 %3206D02%
	0→3	割り当て : 6 (B)	 %3206D03%
	0→4	割り当て : 7 (C)	 %3206D04%
	0→5	割り当て : 8 (D)	 %3206D05%
	0→6	割り当て : 9 (E)	 %3206D06%
	0→7	割り当て : 1	 %3206D07%
	0→8	割り当て : 2	 %3206D08%
	0→9	割り当て : 3	 %3206D09%
	1→0	割り当て : 4	 %3206D10%

28. TELEPEN

28-1 TELEPEN の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3501M%	0→0	無効	 %3501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3501D01% *

28-2 TELEPEN チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3502M%	0→0	無効	 %3502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3502D01% *

28-3 TELEPEN チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3503M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %3503D00% *
	0→1	有効	 %3503D01%

28-4 TELEPEN : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	00→99 ※デフォルト値は 99	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%3504M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99 無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
 数字コード部分に従って読み取りを行います。



28-5 TELEPEN : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">数字コード</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	00→99 ※デフォルト値は 01	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は：</p> <p>「%3505M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

28-6 ユニコード文字セットのタイプ

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 <p data-bbox="252 367 395 394">%3508M%</p>	0→0	英数字 ※デフォルト	 <p data-bbox="1158 282 1469 315">%3508D00%*</p>
	0→1	数値	 <p data-bbox="1158 427 1390 461">%3508D01%</p>

29. GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)

29-1 GS1 DataBar の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2701M%	0→0	無効	 %2701D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2701D01% *

29-2 GS1 DataBar の変換

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2704M%	0→0	なし	 %2704D00% *
	0→1	UCC/ JAN128	 %2704D01%
	0→2	UPC-A or JAN-13	 %2704D02%

30. GS1 DataBar Limited

30-1 GS1 DataBar Limited の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2801M%	0→0	無効	 %2801D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2801D01% *

30-2 GS1 DataBar Limited の変換

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2804M%	0→0	なし	 %2804D00% *
	0→1	UCC/ JAN128	 %2804D01%
	0→2	UPC-A or JAN-13	 %2804D02%

31. GS1 DataBar Expanded

31-1 GS1 DataBar Expanded の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2901M%	0→0	無効	 %2901D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2901D01% *

31-2 GS1 DataBar Expanded : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
 <p>The diagram shows a multi-scan barcode with the code '%2902M%' below it. A blue arrow points down to the text '数字コード' (Digital Code). A second blue arrow points down to a standard barcode with the code '%END%' below it.</p>	<p>00→99 ※デフォルト値は 99</p>	<p>例：読み取り最大桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2902M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 99 無制限になります。</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。



31-3 GS1 DataBar Expanded : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

マルチスキャンコード	数字コード	内容
	<p>00→99 ※デフォルト値は 01</p>	<p>例：読み取り最小桁数を 10 桁に指定したい場合は： 「%2903M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」の順で読み取る。</p> <p>※デフォルト値は 01</p>

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

31-4 GS1 DataBar Expanded の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%2906M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2906D00% *
	0→1	有効	 %2906D01%

32. PDF417

32-1 PDF417 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%3001M%	0→0	無効	 %3001D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3001D01% *

33. QR Code

33-1 QR Code の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%4001M%	0→0	無効	 %4001D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %4001D01% *

34. Data Matrix

34-1 Data Matrix の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%4101M%	0→0	無効	 %4101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %4101D01% *

35. Micro QR の読み取り

35-1 Micro QR の読み取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%4501M%	0→0	無効 ※デフォルト	%4501D00% *
	0→1	有効	%4501D01%

36. Aztec の読み取り

36-1 Aztec の読み取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%4301M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %4301D00% *
	0→1	有効	 %4301D01%

37. 出力文字の編集

37-1 先頭に文字を付加する

読み取ったバーコードの先頭に文字を付加できます。

例: 「A」を挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	A 123456

1. 設定開始を読取ります。



%8001M%

2. 付加する文字を設定します。

「A」 付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
L	H	0	1	0	1
	0		Null		NUL
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



3. 文字の確定（%END%）を読取ります。



4. 設定したコードの送信を有効にします。
上から順にコードを読取ります。



5. 下記のテストコードを読取り、付加した文字が送信されることをご確認下さい。



37-2 末尾に文字を付加する

読み取ったバーコードの末尾に文字を付加できます。

例: 「A」を挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	123456 A

1. 設定開始を読取ります。



%8002M%

2. 付加する文字を設定します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



3. 文字の確定（%END%）を読取ります。



4. 設定したコードの送信を有効にします。
このコードを読取ります。



5. 下記のテストコードを読取り、付加した文字が送信されることをご確認下さい。



37-3 文字を任意の位置に挿入する

読み取ったバーコードの指定した桁の間に文字の挿入が可能です。

例: 「AB」を2文字目の後に挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	12 AB 3456

1. 設定開始を読取ります。



%8005M%

2. 挿入する文字を設定します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにございます。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

3. 文字の確定（%END%）を読取ります。



4. 挿入位置を指定します。

設定開始（%8101M%）を読取ります。



5. 挿入する桁を指定します。

2 桁目のコードの後に挿入する場合は「0」→「2」を読取ります。





%END%

6. 下記を読み取り、これらの設定を有効にします。



%0407001%

7. 下記のテストコードを読み取り、付加した文字が送信されることをご確認下さい。



123456

37-4 文字を別の文字に置き換える。(置換機能)

指定したバーコードに含まれる文字を別の文字に置き換えることができます。

置き換えパターンは2パターンまで登録が可能です。

例: 「A」を「B」に置き換える設定を行った場合

元のデータ	123 A5A
設定後の出力データ	123 B5B

1. 置き換え文字の登録を行います。

初めて登録する場合はパターン1、追加で登録する場合はパターン2の読取りを行います。

パターン1



%8014M%

パターン2



%8015M%

2. 置き換えたい文字を選択して設定します。

「A」を別の文字にする場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにあります。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
0		Null		NUL	DLE
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

3. どの文字に置き換えるかを設定します。

設定した文字を「B」に文字を置き換える場合は「4」→「2」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにあります。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
A	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

4. 最後に下記の「%END%」を読み取って設定完了です。



%END%

5. 実際にコードを読み取って動作を確認して下さい。

37-5 文字を別の文字に置き換える。(置換機能・複数)

複数の文字の置き換えが可能です。(11文字まで)

例：「A」→「B」 「C」→「D」 「E」→「F」と設定した場合

元のデータ	123A4C56E78
設定後の出力データ	123B4E56F78

1. 設定開始 (%8016M%) を読取ります。



2. 置き換え元になる文字を1文字、設定します。

「A」を別の文字に置き換える場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにございます。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
	0		Null		NUL
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

3. 置き換え後になる文字を 1 文字、設定します。

設定した文字を「B」に置き換える場合は「4」→「2」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにあります。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

4. 上記で 1 文字が別の文字に置き換わります。
続けて変更する文字を登録する場合はパターン 2 (P120) まで戻ります。
設定を完了する場合は下記に進みます。

5. 最後に下記の「%END%」を読み取って設定完了です。



%END%

37-6 先頭又は末尾から文字を抜き出す

先頭、又は末尾から文字を抜き出すことができます。

※両方の設定は出来ません。

※文字の間を抜き出しは出来ません。

1.先頭、末尾どちらから文字を抜き出すかを選択します。

マルチスキャン設定	内容
	先頭から
	末尾から

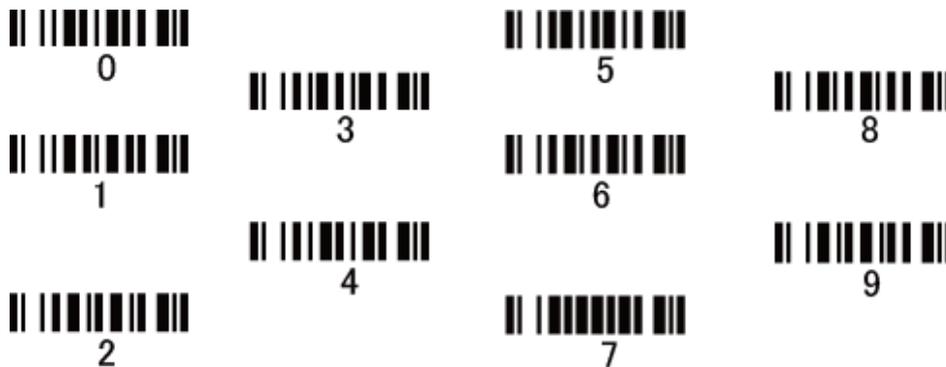
2.数字バーコードより桁数を設定します。

例：先頭より9桁抜き出す場合は「0」→「9」と設定します。

※1～99 文字まで設定可能です。

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）

数字コード部分に従って読み取りを行います。



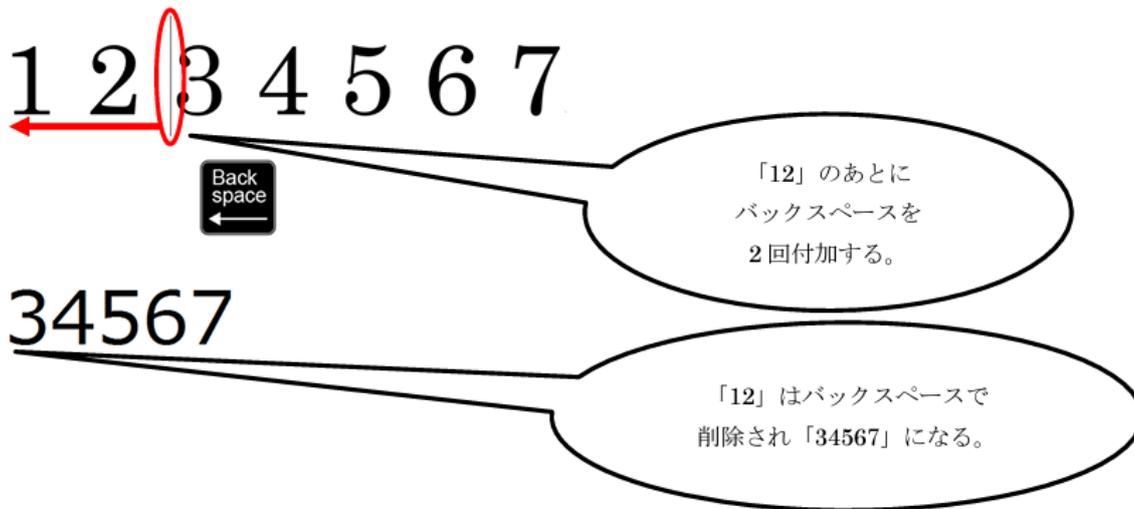
3.最後に設定完了を読み取って設定完了です。



37-7 文字列の削除 (back space 付加)

バーコードデータに back space/バックスペースを入れることで削除になります。

例：「1234567」の先頭 2 文字を削除する (2 桁目から back space を 2 つ付加する)



・下記のような設定は可能です。

例 1：バーコード「12345」から 3 桁目を消して「1245」と送信する。

例 2：バーコード「12345」の 1～3 桁目を消して「45」と送信する。

例 3：バーコード「12345」の 4,5 桁目を消して「123」と送信する。

例 4：バーコードの種類が「CODE39 の場合のみ」3 桁目を削除する。

・下記のような設定は出来ません。

例：バーコード「12345」から 1 桁目、3 桁目、5 桁目を消して「24」と送信する。

1. 下記のコードを読取ります。



2. 削除開始位置を設定します。

例 1：2 桁目だけ、または 3 桁目以前を削除する場合は「0」→「3」の順で読取ります。
数字コードを参照して下さい。

◆数字コード

数字バーコード読み取り（マルチスキャン用）
数字コード部分に従って読み取りを行います。



0



3



5



8



1



6



4



9



2



7

3. 設定終了の「%END%」を読み取ります



%END%

4. 下記のコードを読み取ります。



%8005M%

5. back space を付加する数を選択します。

例 1 : 1 文字だけ削除する場合は「0」→「8」を 1 回読取ります。

例 2 : 2 文字を削除する場合は「0」→「8」を 2 回読取ります。

類似 : 3 文字を削除するなら 3 回

4 文字を削除するなら 4 回

...



6. 設定終了の「%END%」を読取ります



7. 設定したコードの送信を有効にします。

下記のコードを読取ります。



38.出力文字の編集 2

38-1 コード名の表示

バーコードの種類名 (CODE39 や CodaBar 等) を表示させることができます。

例：12345 という CODE39 のバーコードを読み取った場合「**CODE39** 12345」と

先頭にコードの名称が表示されます。

※JAN 等の一部のコードは EAN 等と一部、海外表記・別称で表記されます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%8203M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %8203D00% *
	0→1	有効	 %8203D01%

38-2 コード ID の表示

バーコードに割り振られたコード番号を送信することが可能です。

このコードは別途、任意に割り振ることも可能です。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%8206M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %8206D00% *
	0→1	Proprietary ID	 %8206D01%
	0→2	AIM ID	 %8206D02%

38-3 コード名の文字数の出力

バーコードに含まれている文字数を出力できます。

例：「12345」バーコードを読み取った場合「**5** 12345」と

先頭に文字数が表記されます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%8207M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %8207D00% *
	0→1	有効	 %8207D01%

38-4 大文字→小文字 小文字→大文字固定変換送信

設定を行うことでバーコードの大文字・小文字を任意に指定して送信が可能です。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
%8206M%	0→0	無効 ※デフォルト	%8208D00% *
	0→1	大文字 (バーコードのみ)	%8208D01%
	0→2	小文字 (バーコードのみ)	%8208D02%
	0→3	小文字 (全てのデータ)	%8208D03%
	0→4	小文字 (全てのデータ)	%8208D04%

39.コード ID のセッティング

39-1 コード ID の設定

[P132](#) のコード ID にて任意の文字を送ることが出来ます。

※[P132](#) の設定を「Proprietary ID」にする必要があります。

1. コード ID を設定したいコードのバーコードを読取ります。

※「<>」内はデフォルトの ID

UPC-A<A>



%1104M%

UPC-E<D>



%1204%

UPC-E1<D>



%3405M%

JAN-13 (ISBN) <A>



%1304M%

JAN-8<C>



%1404M%

Code 39<M>



%1506M%

Interleaved 2 of 5 <I>



%1606M%

Industrial 2 of 5(Discrete 2 of 5) <H>



%1704M%

Interleaved 2 of 5 <I>



%1606M%

Matrix 2 of 5 <X>



%1806M%

Codabar <N>



%1906M%

Code 128 <K>



%1906M%

UCC/EAN 128 <K>



%2506M%

ISBT 128 <K>



%3306M%

Code 93 <L>



%2106M%

Code 11 <V>



%2206M%

MSI/Plessey <O>



%2306M%

UK/Plessey <U>



%2406M%

China Post <T>



%2606M%

China Finance <Y>



%3207M%

Telepen <P>



%3506M%

GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated) <R>



%2702M%

GS1 DataBar Limited <R>



%2802M%

GS1 DataBar Expanded <R>



%2904M%

2. セットしたい文字を選択します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにございます。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

3. 文字の確定 (%END%) を読取ります。



◆ASCII コード

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにございます。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
L	H	0	1	0	1
	0		Null		NUL
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

◆初期化

バーコードリーダーの設定を工場出荷時のものにします。



◆バージョンの確認

メモ帳や Excel などを開いて読取りを行います。

